

日付	会場	開始時間	終了時間	セッション名	発表	質疑応答	総合討論	登録番号	演題番号	演題名
10月4日	A会場	10:30	12:00	シンポジウム1:今後の川崎病急性期治療:IVIG代替療法の可能性	6分	4分		10000	S1-5	川崎病血管炎に対するインターロイキン-33/ST2系標的薬の抗炎症効果
10月4日	B会場	11:00	11:50	一般演題3-1:症例報告	6分	4分		10001	O3-1-4	冠動脈の水素ガス吸入治療 川崎病マウスモデルの病変
10月4日	B会場	10:00	10:50	一般演題2:病理・病態・基礎医学	6分	4分		10002	O2-5	マウス冠動脈炎・狭窄モデルに対するアンギオテンシン受容体拮抗薬の有効性
10月5日	A会場	9:20	10:50	シンポジウム3:病因論	6分	4分		10003	S3-5	妊娠中の母親の葉酸血中濃度と乳児期の川崎病発症との関連:エコチル調査より
10月4日	B会場	13:30	14:20	一般演題4:疫学	6分	4分		10004	O4-3	米国での先行研究に基づいた当科における川崎病患者に関する臨床的特徴についての検討
10月5日	A会場	9:20	10:50	シンポジウム3:病因論	6分	4分		10005	S3-6	母体血中重金属濃度と川崎病との関連性:エコチル調査
10月5日	A会場	15:00	15:50	一般演題3-2:症例報告	6分	4分		10006	O3-2-1	難治川崎病様症状を呈したNLRP12関連自己炎症性疾患患者の免疫学的特徴
10月4日	B会場	13:30	14:20	一般演題4:疫学	6分	4分		10007	O4-4	川崎病パンデミック 203X
10月5日	A会場	9:20	10:50	シンポジウム3:病因論	6分	4分		10008	S3-4	トルクテノ・ウィルスのウィルス量が、川崎病の佐野スコアや総ビリルビン量に相関する
10月4日	B会場	16:30	17:30	一般演題5:遠隔期治療・管理	6分	4分		10009	O5-5	川崎病による左主幹部閉塞患者の臨床経過と予後
10月4日	B会場	16:30	17:30	一般演題5:遠隔期治療・管理	6分	4分		10010	O5-6	日本川崎病学会公式SNSをご存じですか?
10月4日	B会場	11:00	11:50	一般演題3-1:症例報告	6分	4分		10011	O3-1-5	外来における川崎病患者に対する教育的関わりの実態と小児科医が抱くニーズーSMILE@KDプロジェクト Webアンケート調査報告ー
10月5日	A会場	16:00	17:50	シンポジウム4:遠隔期の問題:動脈硬化、ACS	6分	4分		10012	S4-5	スタチンは川崎病モデルマウスにおいて冠動脈狭窄抑制効果を認める
10月4日	B会場	10:00	10:50	一般演題2:病理・病態・基礎医学	6分	4分		10013	O2-1	川崎病モデルマウス心臓由来細胞のシングルセル解析とAI薬効予測による創薬基盤研究
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10014	P1-3	2nd line治療後に白血球増殖を認めた川崎病2症例における追加治療の検討
10月4日	B会場	10:00	10:50	一般演題2:病理・病態・基礎医学	6分	4分		10015	O2-4	LCWE誘導性冠動脈炎モデルにおける抗HMGB-1抗体投与の治療効果
10月4日	A会場	15:50	16:40	会長要望演題2:治療に難渋した症例(急性期、遠隔期)	6分	4分		10016	K2-5	川崎病既往患者の50歳前後での冠動脈バイパス手術の背景と特徴
10月5日	A会場	9:20	10:50	シンポジウム3:病因論	6分	4分		10017	S3-3	疫学データから導かれる川崎病の原因仮説
10月4日	B会場	10:00	10:50	一般演題2:病理・病態・基礎医学	6分	4分		10018	O2-3	川崎病患者における、補体成分C5aと好中球の活性化に関する検討
10月4日	B会場	16:30	17:30	一般演題5:遠隔期治療・管理	6分	4分		10019	O5-4	冠動脈病変合併川崎病患者の成人以降のフォローアップの現状
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10020	P2-3	血漿交換療法中に薬剤性急性尿管間質性腎炎を合併し、プレドニゾン投与を要した川崎病乳児例
10月4日	A会場	09:30	10:20	一般演題1:急性期治療	6分	4分		10021	O1-1	近年のIVIG不応低リスク患者における追加治療例の実態
10月4日	A会場	09:30	10:20	一般演題1:急性期治療	6分	4分		10022	O1-5	2nd line治療としてのインフリキシマブの有効性について-PEACOCKサブ解析-
10月5日	A会場	16:00	17:50	シンポジウム4:遠隔期の問題:動脈硬化、ACS	6分	4分		10023	S4-6	成人川崎病フォローにおける動脈硬化進展予防としてのスタチン治療
10月4日	A会場	10:30	12:00	シンポジウム1:今後の川崎病急性期治療:IVIG代替療法の可能性	6分	4分		10024	S1-3	静注用免疫グロブリン製剤不足に応じた当院の治療転換について
10月4日	A会場	13:10	14:00	会長要望演題1:治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療	6分	4分		10025	K1-1	治療前に冠動脈病変を認めたが標準治療に追加治療を併用することで良好な経過をたどった乳児川崎病の1例
10月4日	A会場	10:30	12:00	シンポジウム1:今後の川崎病急性期治療:IVIG代替療法の可能性	6分	4分		10026	S1-7	川崎病の主要症状と検査所見に基づくクラスタリング解析
10月4日	A会場	10:30	12:00	シンポジウム1:今後の川崎病急性期治療:IVIG代替療法の可能性	6分	4分		10027	S1-4	免疫グロブリン製剤不足に対する川崎病治療プロトコル変更の試み
10月5日	B会場	9:00	10:00	一般演題6:検査・診断	6分	4分		10028	O6-4	川崎病遠隔期病変におけるVasa vasorumと内膜肥厚の関連
10月4日	B会場	11:00	11:50	一般演題3-1:症例報告	6分	4分		10029	O3-1-2	川崎病と類似疾患の鑑別を試みた5例の検討
10月4日	A会場	13:10	14:00	会長要望演題1:治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療	6分	4分		10030	K1-4	血漿交換後の後治療の重要性を認識した川崎病冠動脈瘤症例
10月5日	A会場	15:00	15:50	一般演題3-2:症例報告	6分	4分		10031	O3-2-5	川崎病を契機に高血圧を指摘され、後に弾性線維性仮性黄色腫の診断に至った9歳女児例
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10032	P2-1	入院中に川崎病を発症したが診断に苦慮した1例
10月4日	A会場	16:50	17:55	会長要望演題3:心筋虚血の評価、冠動脈末梢循環障害の評価	6分	4分		10033	K3-3	遠隔期川崎病後冠動脈障害に対する¹³NアンモニアPET検査での末梢冠循環障害の評価
10月4日	A会場	16:50	17:55	会長要望演題3:心筋虚血の評価、冠動脈末梢循環障害の評価	6分	4分		10034	K3-5	13N-アンモニアPETによる心筋血流定量を考慮した川崎病後冠動脈病変の血行動態の検討
10月5日	B会場	9:00	10:00	一般演題6:検査・診断	6分	4分		10035	O6-6	川崎病急性期における冠動脈エコー輝度亢進の定量化
10月4日	A会場	15:50	16:40	会長要望演題2:治療に難渋した症例(急性期、遠隔期)	6分	4分		10036	K2-4	左前下行枝(LAD)の巨大瘤の血栓閉塞に対する冠動脈バイパス術後に、瘤内血栓が溶解しLADの順行性血流が回復した症例
10月4日	B会場	11:00	11:50	一般演題3-1:症例報告	6分	4分		10037	O3-1-1	急性汎発性発疹性膿疱症(AGEP)に引き続き川崎病を発症した3歳男児
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10038	P1-1	川崎病の経過観察中に単冠動脈と診断された症例
10月5日	B会場	9:00	10:00	一般演題6:検査・診断	6分	4分		10040	O6-1	川崎病難治例を予測するバイオマーカーの開発 へ予測診断キット作成に向けて
10月5日	B会場	9:00	10:00	一般演題6:検査・診断	6分	4分		10041	O6-5	川崎病巨大冠動脈瘤症例の心臓MRI検査で認められる早期欠損の解釈 心臓MRI検査と冠動脈造影検査に差異が生じた症例からの考察
10月4日	B会場	16:30	17:30	一般演題5:遠隔期治療・管理	6分	4分		10042	O5-2	川崎病遠隔期に発症した冠動脈狭窄および閉塞病変の検討
10月4日	A会場	15:50	16:40	会長要望演題2:治療に難渋した症例(急性期、遠隔期)	6分	4分		10043	K2-1	初回免疫グロブリン療法で速やかに解熱したにも関わらず中等度以上の冠動脈瘤を合併した2例
10月5日	B会場	9:00	10:00	一般演題6:検査・診断	6分	4分		10044	O6-2	SARS-CoV-2陽性川崎病とMIS-Cの鑑別ーJ-MKCLレジストリを用いたスコアリング作成の試みー
10月4日	A会場	10:30	12:00	シンポジウム1:今後の川崎病急性期治療:IVIG代替療法の可能性	6分	4分		10045	S1-6	川崎病モデルマウスに対するIL-1阻害薬製剤の効果の比較
10月4日	A会場	14:10	15:40	シンポジウム2:PCI vs. CABG	6分	4分		10046	S2-5	幼児期に川崎病による高度な冠動脈狭窄に対してPOBAを施行し、遠隔期に新規動脈瘤を認めた1症例
10月4日	A会場	15:50	16:40	会長要望演題2:治療に難渋した症例(急性期、遠隔期)	6分	4分		10047	K2-2	当院における重症川崎病患者に対するシクロスポリンA服用時の工夫について
10月4日	B会場	13:30	14:20	一般演題4:疫学	6分	4分		10048	O4-1	川崎病疫学調査2023-24
10月4日	A会場	10:30	12:00	シンポジウム1:今後の川崎病急性期治療:IVIG代替療法の可能性	6分	4分		10049	S1-2	IVIG治療代替療法としてのステロイドパルス療法
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10050	P1-4	シクロスポリン持続静注を含めた追加治療に不応であり血漿交換を要した重症川崎病の2例
10月4日	A会場	09:30	10:20	一般演題1:急性期治療	6分	4分		10052	O1-4	シクロスポリン初期併用療法の現状と課題
10月4日	A会場	13:10	14:00	会長要望演題1:治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療	6分	4分		10053	K1-2	川崎病診断早期に冠動脈拡張を認め発症1か月時に残存した冠動脈瘤の経過
10月5日	A会場	15:00	15:50	一般演題3-2:症例報告	6分	4分		10054	O3-2-3	初発症状が眼高周囲蜂窩織炎であった川崎病
10月4日	A会場	09:30	10:20	一般演題1:急性期治療	6分	4分		10055	O1-2	川崎病急性期の大量免疫グロブリン療法におけるアスピリン併用の再検討
10月4日	A会場	16:50	17:55	会長要望演題3:心筋虚血の評価、冠動脈末梢循環障害の評価	6分	4分		10056	K3-4	川崎病による右冠動脈閉塞患者における 13 N-Ammonia Myocardial Perfusion Positron Emission Tomographyによる冠循環の評価
10月4日	A会場	15:50	16:40	会長要望演題2:治療に難渋した症例(急性期、遠隔期)	6分	4分		10057	K2-3	当院における外科的介入を要する急性腹症を合併した川崎病の検討
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10058	P2-5	耳鼻科、内科を経て最終的に川崎病と診断、小児科で加療した16歳女性の冠動脈瘤合併症例
10月5日	A会場	15:00	15:50	一般演題3-2:症例報告	6分	4分		10059	O3-2-2	免疫グロブリン療法後の亜急性期に大量胸水を生じた川崎病の一例
10月4日	A会場	14:10	15:40	シンポジウム2:PCI vs. CABG	6分	4分		10060	S2-6	川崎病罹患3年で局所狭窄が進行し冠動脈バイパス術を施行し1年で出口が閉塞した巨大冠動脈瘤の幼児例
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10061	P1-5	川崎病主要症状が認識されていたにも関わらず診断に至らず、巨大冠動脈瘤を合併した一例
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10062	P2-4	発熱・胸痛・下痢・意識障害を伴い、第12病日に川崎病症状を呈したMIS-C疑いの7歳男児の一例
10月4日	B会場	13:30	14:20	一般演題4:疫学	6分	4分		10063	O4-2	全国調査を用いた川崎病における直近の抗菌薬投与と冠動脈合併症の関連
10月4日	A会場	13:10	14:00	会長要望演題1:治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療	6分	4分		10064	K1-3	血漿交換が効果なく、インフリキシマブ投与を行った乳児川崎病の一例
10月4日	B会場	16:30	17:30	一般演題5:遠隔期治療・管理	6分	4分		10065	O5-1	遠隔期に巨大冠動脈瘤の再拡大を呈した2症例
10月4日	B会場	10:00	10:50	一般演題2:病理・病態・基礎医学	6分	4分		10066	O2-2	CAWS血管炎マウスモデルの初期病変についての病理組織学的検討
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10067	P1-2	右冠動脈低形成に冠動脈瘤を合併した男児例
10月5日	B会場	9:00	10:00	一般演題6:検査・診断	6分	4分		10068	O6-3	川崎病急性期に冠動脈Z-scoreを用いて冠動脈病変発症を予測する:多施設共同後方視的研究
10月4日	B会場	13:30	14:20	一般演題4:疫学	6分	4分		10069	O4-5	川崎病(KD)の東京都定点の24年22週までの報告数は過去最大の罹患数の18年より2人多い92人であったが今後の動向は?
10月4日	B会場	11:00	11:50	一般演題3-1:症例報告	6分	4分		10070	O3-1-3	冠動脈病変を有する川崎病遠隔期症例における酸化ストレスの検討

日付	会場	開始時間	終了時間	セッション名	発表	質疑応答	総合討論	登録番号	演題番号	演題名
10月4日	A会場	09:30	10:20	一般演題1:急性期治療	6分	4分		10071	O1-3	初期併用療法をしない川崎病治療プロトコールの評価:さらなる効果を求めるための改善点
10月5日	A会場	15:00	15:50	一般演題3-2:症例報告	6分	4分		10072	O3-2-4	川崎病の診断に先行して可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎を発症した1例
10月4日	A会場	16:50	17:55	会長要望演題3:心筋虚血の評価、冠動脈末梢循環障害の評価	6分	4分		10073	K3-2	ischemia with non-obstructive coronary artery disease (INOCA) を発症した川崎病既往例
10月5日	D会場	14:20	15:00	ポスター	4分	3分		10074	P2-2	川崎病の急性期に腎腫大を認めた1例
10月4日	A会場	13:10	14:00	会長要望演題1:治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療	6分	4分		10075	K1-5	治療前に冠動脈病変がすでにある川崎病症例の治療反応性と冠動脈予後
10月4日	B会場	16:30	17:30	一般演題5:遠隔期治療・管理	6分	4分		10076	O5-3	川崎病冠動脈病変に対する冠動脈バイパス術後遠隔期に頻発する心室期外収縮と左室収縮能低下を認めた一例